

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成28年度第2回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	平成29年3月23日（木） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	西脇市民会館 中ホール
出席委員の氏名又は人数	16名
欠席委員の氏名又は人数	3名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー3名、事務局5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1 成果指標等の設定について 2 意見交換
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（以後の進行を浅野会長に依頼）</p> <p>会長 成果指標等の設定について、事務局から説明いただきたい。</p> <p>事務局 会議資料に基づき、事務局から説明</p> <p>会長 2点確認したい。まず1点、4ページ、文化・スポーツ活動の振興「西脇多可新人高校駅伝大会参加チーム・観客等大会規模」とあるが、目標値には参加チーム数がないのはなぜか。2点目は、6ページ、学校給食の地産地消の推</p>
事務局	
会長	
事務局	
会長	

	<p>進「連絡会議の開催回数」とあるが、地産地消の推進であれば、各センターの地産地消率を指標とした方がいいのではないか。</p>
<p>担当者</p>	<p>先日開催した第9回のエントリーチーム数は、男子74チーム、女子38チームである。</p> <p>※ エントリーチーム数を指標に追加する。</p>
<p>担当者</p>	<p>地産地消率は、各センターによって計算方法が違うので、同じ指標として設定が難しい。今後、取組内容を検討していく中で、それに見合う指標の設定を検討するので、ご理解いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>5ページ鳥獣被害防止対策の推進での成果指標が「食肉処理加工施設へのシカ搬入頭数」となっている。施策名と指標が合っていないように思う。鳥獣被害防止対策に見合った指標の方がいいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>防護柵の設置等の鳥獣被害防止対策は、加西市、加東市を中心市とする北播磨広域定住自立圏での連携事業となっている。西脇市、多可町での北はりま定住自立圏では、食肉処理加工施設による捕獲鳥獣の有効活用が連携事業となっているので、事業に関する指標を設定している。</p>
<p>事務局</p>	<p>北共生ビジョンの51ページと52ページをご覧いただきたい。鳥獣被害防止対策の推進では、食肉処理加工施設整備運営事業と捕獲鳥獣有効活用事業の2事業を連携事業としているので、ご理解いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>指標の数値は、27年度は実績値、28年度以降は推計値と考えていいのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのとおりである。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページ、介護認定審査会開催回数が207回となっている。365日で割ると2日に1回以上行っていることになるが、どのように開催しているのか。</p>

担当者	週に2日開催している。
会長	計算が合わないように思うが。
担当者	2つの合議体（審査会）を一度に行っているため、1日に2回開催していることになる。
委員	4ページ、北はりま旬菜館での圏域出荷者売上額だが、27年度を基準に、毎年100万円ずつ増えている。根拠のある数値なのか。
担当者	北はりま旬菜館は売上額2億という全体目標額がある。その内数として、圏域内出荷者の売上がある。細かな積み上げ結果の数値ではなく、内数の目標値として設定したものである。
委員	北はりま旬菜館について、現在、出荷者数224名。うち西脇市104名、多可町37名となっている。平成29年度、西脇市でいちご農家が3名増えるので、もう少し目標値を増やしていただいてもいいのではないかと思う。また、彼らはいちごの観光農園も行うので、10,000人近くが来られるのではないかと思っており、6ページの観光入込客数も増えると期待している。
会長	委員が言われたように目標値と実績値が大きく変わっていくこともあろうと思う。目標値の変更、見直しはされるのか。
事務局	設定する目標値は変更しない予定である。実績値を毎年この会議で報告させていただき、目標値との差の要因等を分析していきたい。
委員	（意見交換） 病院フェスタは、年々たくさんの方が来られている。病院が頑張っておられるが、市民を巻き込み、市民と一体となったイベントになればいいと思う。 多可町でも実施され、連携ができればいいと思う。
委員	多可町はへき地医療で西脇市にお世話になっている。感

	謝している。多可町は終末期医療の体制づくりに取り組んでいるところである。
委員	西脇多可新人高校駅伝大会が地域に定着していることをうれしく思う。来年で 10 回記念となる。ただ残念なのは、駅伝大会に続くイベントができないことである。お年寄りのスポーツであるグランドゴルフ大会などができればと思う。施設の相互利用については、北播磨広域定住自立圏で検討いただくとのことなので、進捗なども今後教えていただきたい。
事務局	グランドゴルフ大会については、来年度、北播磨広域定住自立圏での開催を計画中である。
委員	教育文化の連携事業にある、共同企画展はどのような事業か教えてほしい。
担当者	共同企画展は、平成 24 年度から実施している。共通のテーマで西脇会場と多可会場でそれぞれ開催している。また、開催期間中にテーマに沿った学識者の講演会も実施している。
委員	平成 27 年度はどこで実施されたのか。
担当者	西脇市は郷土資料館で実施し、多可町は那珂ふれあい館で実施した。
委員	教育文化の連携事業が文化財を中心としたものになっている。皆さんの関心事はホール文化なのではと思う。西脇市はホールが新しくなる。ホール文化に係る連携事業は期待度が高くなるのではないかと思う。
委員	転作の見直しなどで農家が困っている。山田錦が増えてきているが、1 年間、田をフル活用するため、野菜、飼料米の栽培などを推進する必要があるのではないか。国の補助金等を活用して推進していただきたい。
担当者	委員が言われるとおり、転作の見直しが予定されている。国の補助金等を活用しながら検討していきたい。

委員	人口が減少しており、昼間人口がどうなっているのか気になるところである。若い方の地元定着が必要であり、地域経済が低迷している中で、若い方々の起業を商工会も支援している。小規模起業の件数なども指標にしてはどうかと思う。
事務局	平成 27 年国勢調査における昼間人口の公表が今年の 6 月ごろになろうかと思うので、その結果はあらためてご報告したい。そもそも定住自立圏構想は、圏域内で生活機能を確保し域外への流出を食い止めるというところから始まっており、昼間人口は非常に大きなテーマである。
会長	昼間人口比率の目標値は
事務局	目標値は、平成 22 年国勢調査を維持するとしている。
委員	先日、東京の有楽町で多可町のイベントを実施した。多可町がふるさとであるという方もおり、ふるすとは大切なものなんだと感じた。ふるさとを守っていかないといけない、元気にしないといけないと思っている。
委員	先日の肉祭、一日対応させていただいた。田舎体験、移住体験ツアーなど一緒にできればよかったと思っている。三田市でも移住体験ツアーを実施して好評であったようなので、検討してみてもどうか。
会長	移住体験ツアーのお話があったが、移住促進施策は、それぞれの市町で実施しているのか。
事務局	移住定住促進の事業は、それぞれの市町で実施している。移住体験ツアーのお話があったが、まず訪れていただいて、良さを知ってもらい、好きになってもらうことが次に繋がるのかなと思っている。ご提案を踏まえながら今後検討していきたいと思う。
委員	西脇多可新人高校駅伝が来年 10 年目を迎える。もっと大々的に市を代表するイベントとして実施できないものかと思う。実行委員会のメンバーは高齢化し後継者がいないし、協賛金集めも苦労されているようである。

	<p>観光入込客数の西脇市、多可町それぞれの数値を教えてください。</p>
事務局	<p>28年度の目標値で西脇市 130 万人、多可町 116 万人となっている。</p>
委員	<p>月 10 万人も来られているような実感がないが、これだけの方がお越しなのであれば、観光協会としては、西脇多可の縦断的なプランニングをする必要があるなと思う。</p>
会長	<p>観光入込客数はどのように取られている数値なのか。</p>
担当者	<p>観光入込客数とは、県が指定する市内施設に来られた方の人数の合計値である。例えば、総合市民センターの入館者数も入っているので、純粋な観光客数ではない。田園空間博物館は西脇市でカウントされているので、多可町の方が観光客は多いかもしれない。</p>
委員	<p>多可町へ来られる方は西脇市を通過して来られるので、西脇多可の連携は必要である。また、インバウンドについても定住自立圏でご検討いただければと思う。</p>
委員	<p>田園空間博物館で案内をさせていただいている。案内させていただいた方からは、「良いところがあるんですね」との声があり、誇れるものはたくさんあると思う。先日の肉祭の際も、たくさんの方が来られ、会場から溢れた方が田空にいらっしやう。そのような方が、市内を観光できるように市内周遊ツアーなどを企画していればよかったと思った。大きなイベントのときは、それだけでなく、市内を観光してもらえようようなツアーなどの仕掛けが必要だと思う。</p>
委員	<p>3 ページ、医療体制の確保で救急受入件数の目標値が年々増加しているが、医師数は年々増えているわけではない。医師が増えないのに受入件数を増やすことは可能なのか。指標の関連性について教えてほしい。</p> <p>成果指標の目標値には、行政だけではどうにもできないものがある。例えば、5 ページ、生活系可燃ごみの年間排出量。20 トンまたは 30 トンの減少を見込まれているが、</p>

事務局	<p>市民の方の協力なしではできないことである。どのように市民の方に周知するのか。</p> <p>また、成果指標の実績について、どのようなチェック体制をとられるのか。</p> <p>医療体制の件については、担当課長が欠席しているの で、後日お返事させていただく。</p> <p><u>※ 救急受入件数に大きな影響を与えるのは当直対応が行える診療科数と当直医指数であり、夜間当直体制を整えることが重要となる。西脇病院では、内科と脳神経外科で毎日当直を、外科、整形外科、小児科で不定期での当直を行っている。今後は、医師の理解と協力を得ながら、夜間当直体制の充実を図っていきたいと考える。また、救急受入について消防署と情報共有することも大切と考えている。</u></p>
事務局	<p>成果指標については、チェック（検証）の部分を担当していただくのがこの共生ビジョン会議であり、実績値を報告させていただいた際、事業の検証評価をいただき、新たな事業展開等についてご意見を頂戴したいと思っている。</p> <p>また、定住自立圏での取組内容を市民の方に周知することは、大きな課題だと認識している。市民の方への協力も含め、広報等で取組内容の周知に取り組んでいく。</p>
会長	<p>定住自立圏の取組について、どのような媒体で周知しているのか。</p>
事務局	<p>連携事業については、西脇、多可の広報に同時に掲載するなどして周知を図っている。今後も地道に市民への周知に取り組んでいく。</p>
委員	<p>認定農業者を対象とした研修会のやり方について、行政と農業者だけでやるのではなく、農協を含め実施してほしい。</p> <p>上下水道業務の連携について、多可町では、農業集落排水の統合が予定されている。連携機関と調整して進めたい。また、資料にある「兵庫県水道事業のあり方」の内容について教えてほしい。</p>

事務局	<p>「兵庫県水道事業のあり方」の提言内容だが、人口減少等で水道事業が抱える課題を解決するため広域化の検討を提言されている。合併というわけではなく、広域の枠組みで検討するようというところである。その枠組みとして、定住自立圏域での検討を進めようとしているところである。</p>
担当者	<p>多可町では、効率経営や適切な維持管理のため下水道施設の統合を予定している。</p>
会長	<p>この会議がP D C Aの一翼を担うということなので、委員の皆様には、よろしくお願ひしたい。 事務局から連絡事項があればお願ひする。</p>
事務局	<p>(連絡事項) 貴重な意見の数々にお礼申し上げる。 数値目標、成果指標については、共生ビジョンの別冊として取りまとめる予定で、製本が出来次第、各委員の皆様にお送りする。次年度のビジョン会議は、秋以降に、事業の取組内容とあわせ、成果指標の実績値の報告をする予定である。委員の皆様には、任期があと1年あるので、引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p>(閉会)</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>